

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		2-	4	
事業名	鉄道事業費		会計	款	項	目
			一般	2	1	12
施策	1	安全・安心なまち	課名	政策課		
	1-2	住みやすいまちをつくる	係名	政策係		
	1-2-2	道路・公共交通網の整備				
主要施策	④ 公共交通機関の充実					

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	通勤・通学者と高齢者、障がい者等の交通弱者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	通勤・通学者と障がい者等の交通弱者が、公共交通としての鉄道を利用して、移動ができている。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 北勢線事業運営協議会の設置 北勢線事業運営維持費への補助 三岐線鉄道軌道安全輸送設備等整備事業への補助 三岐線鉄道施設安全対策事業への補助 			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
	1	北勢線利用者数	2,558,830	2,571,828	2,551,724	人	↑	
2	公共交通機関(三岐鉄道、路線バス、コミュニティバス)の利用率についての調査	次回アンケート調査で把握	次回アンケート調査で把握	23.4 (H27 29.3)	%	↑		
3								
4								
5								
			平成30年度 (決算)		令和元年度 (決算)	令和2年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B					50,932	62,113	63,060	
財源内訳	直接事業費 A				45,652	50,233	51,180	
	うち一般財源				45,652	49,591	51,110	
人件費 (千円) B					5,280	11,880	11,880	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.8		5280	1.8	11880	1.8 11880
	臨時職員 (人・千円)		0		0	0	0	0 0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	D国・県・広域自治体で担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	III 要改善 (事業は継続するが、更なる改善が必要)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画	通勤定期、通学定期、定期外に分けて、どの区分を伸ばすかを定めて利用者増に取り組む。	③取組の課題	通勤定期での利用者について、伸ばすことができる余地があると考えられるが、取組みが進んでいない。
②R1年度に実施した取り組み	定期外に向けてのイベントについて改善を行い、引き続き行うべきイベントは継続して行った。	④今後の改善計画	通勤定期での利用者の増加に向けて、広域的に取り組む。長期的で計画的な事業を進める。